

初春を迎え、新年明けましておめでとうございます。
新年にあたり、ご挨拶申し上げます。

本年は、気温はやや低くいものの、晴天で穏やかな日和が続き、
温かく感じられたお正月でありました。皆様方におかれましては、
ご家族共々も健やかなお正月をお迎えになられましたこととお慶び
申し上げます。

昨年の 10 月にはノーベル医学・生理学賞が山中伸弥先生の受賞と
決まり、大喝采を浴びましたが、本学の医学研究科の卒業生として
大いに称賛されるべきと、喜んでおりましたところ、さらに、また、
喜ばしいニュースが新年になり飛び込んでまいりました。

理学研究科、複合先端研究機構の神谷信夫教授が、この元旦に「朝
日賞」を受賞されました。先生は 2011 年のサイエンス誌の世界の
10 大トピックスで、国家プロジェクトの「ハヤブサ プロジェクト」
と並ぶ我が国からの 2 つの大トピックスとしてとりあげられ、世界
から祝福を受けたばかりであります。先生の朝日賞の受賞をお祝い
申し上げますと同時に、本学としても大変に名誉に思う次第です。

2013 年は、第二期中期目標・中期計画の 2 年目に入ります。

この期間の重点戦略を「都市科学分野の教育研究の展開と大阪市
のシンクタンク機能の充実」、「専門性の高い社会人の育成」、「国際
力の強化」の 3 つに絞ったことは述べておりますが、橋下市長が就
任以降、大阪維新の会のマニフェストで「府立大との一体的経営」
が記載されていたことから、一躍、マスコミ等でも府大との統合関
係が掲載されることが多くなりました。

府と市は平成 27 年度に新たな統治組織として「大阪都」の実現をめざしていると報道されています。そのために大都市制度の検討や二重行政の整理等を行なう「大阪府市統合本部」が設置されました。大学は、広域行政に含まれるという論理から、この中で「経営形態の変更を検討する項目」の一つとして位置付けられています。

このため、今後の大阪の成長に貢献する公立大学のあり方を、外部有識者の意見を踏まえて将来ビジョンを策定することとされ、そのための提言を行なうことを目的として、6 月に外部有識者による「新大学構想会議」が設置されました。矢田俊文委員長とした構想会議において、大学のビジョンの検討が進められ、府市統合本部に提言される予定になっておりました。

昨年末の 12 月 27 日の第 2 回新大学構想会議において、新大学構想の提言（案）が示されました。ここには、サブタイトルとして「統合と再編、新教学体制と大胆な運営改革」と題されています。

新たな公立大学ビジョン策定の背景として、「世界的な都市間競争に打ち勝つ『強い大阪』を実現する成長戦略での都市の知的インフラとして、大学の活用は不可欠であること」、「二つの大学をあわせれば最大規模の公立大学となり、これまでの永年にわたっての培ってきた両大学の伝統や特徴、実績といったポテンシャルの活用が重要であること」が示されています。

このように、ビジョン検討の視点としては、「大阪の成長戦略への貢献」、「政策への寄与など自治体との連携や教育行政への貢献とともに実践的研究による公立大学らしさの追求」、「両大学が培ってきた伝統と蓄積の活用」が重要な点とされており、そういった視点を踏まえた大学の抜本的見直しを実施し、新しい公立大学の姿を世に示し、今後の新たな社会の公立大学の「さきがけ」となることを目指しています。

改革の基本方針として3つの柱が示されています。

① 新たな教学体制の導入：

- ・ 研究組織と教育組織の分離
- ・ 専門教育重視の学部と学際教育重視の学域の併存

② 選択と集中による教育組織の再編：

- ・ 重複学部の見直しと新学部「地球未来理工学部」「看護学部」「獣医学部」、新学域「人間科学域」、および関連した、あるいは新研究科の設置、
- ・ ブランド学部・学域の強化、
- ・ 教養教育の強化
- ・ 社会人教育の充実、教育大学院の新設

③ 大学運営システムの抜本的改革：

- ・ 理事長・学長のガバナンスの強化
- ・ 教員人事の一元化
- ・ 教員配置の定期的見直しによる流動性の確保
- ・ キャンパスガバナンスの構築など、など

このような構想会議のめざす方向性は、都市を学問創造の場ととらえ、実学を重視するとともに国際力強化を重点に据えてきたこれまでの本学の強みをより発展させるだけでなく、府大との統合により、より大きなシナジー効果が期待できるものと考え、世界と戦える新しい公立大学の姿とすべきであろうと思います。

1月はじめに正式な提言として、府市へ答申され、大学にも正式に意見を求めてこられることとなります。府市での内部調整や大学の意見聴取、議会での審議を踏まえて、4月をめどに「新大学ビジョン」が策定されることとなります。

今後は、現在進行中の本学の改革をこれらの提言を踏まえて、さらに多くの課題に対処しつつも、より充実し、飛躍、発展できる大学を目指していきたいと考えております。皆様のさらなるご理解と

温かいご支援を願うところです。

昨年、3月にこの20年来の念願のJR東口が開設されました。教職員の方々をはじめ、近隣の山の内町や杉本町の方々のご尽力をいただいたおかげと感謝いたしております。

そして6月に東口に連絡通学路としての「南部ストリート」が開設され、その通用門を「杉本門」と皆様の公募で決めていただきました。

これに隣接する南北道路は12月に開通いたしました。黒田緑化財団のご寄付による桜の植樹などがこの冬になされ、歩行路としてより素晴らしいものに完成します。もっとも、これは市道ですので大学で名称はつけられませんが、この歩行路の愛称を皆様のお知恵を借りて公募したいと考えております。

理系学舎の整備は着々と進んでおりまして、旧教養地区の共通研究棟、理工地区の理系共通実験棟はすでに8月に完成し、全体の工事も27年春には完了できると考えております。その折には、この新理系学舎の前の樫通りも整備し直し、南部ストリートからの美しいアクセス通りにしたいと考えております。

また、この3月には産学連携拠点としての人工光合成研究センターが完成し、いよいよ本格的に研究活動が新たな拠点で始動いたします。同時に新しい試みとして、7月には「うめきた」地区のナレッジキャピタルに「健康科学」をテーマとした市立大学ゾーンを開設し、全学プロジェクトの産学連携活動に一役買っていただこうと思います。

さらに、2014年の春には、アベノハルカスの21階に医学部の先端予防医療センターさらには医学部内に同盟の研究所ができる予定です。今後の21世紀の医療の先端に行く先制医療を中心に、大阪の

健康・医療におおいに活躍を期待されるところです。

一昨年に、大学に大学サポーター事務局を設け、同窓会や学友会への大学としての協力窓口として活動を開始してきておりますが、昨年の11月に統一同窓会としての大阪市立大学同窓会が設立されました。今後はさらに同窓会活動を全学的に進めていただくと同時に大学も今まで以上に協力して参りたいと考えております。

海外では上海同窓会が結成され、昨年の11月には学生のインターンシップの受け入れにもご協力いただくなど同窓会活動も国際色を帯びてきており、新たな局面と感じております。

研究関係では、光合成研究はもとより、工学研究科の中尾正喜教授によるNEDOの次世代型ヒートポンプシステム研究開発プロジェクトや、環境省の平成24年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業に採択された咲洲地区スマートコミュニティ実証実験が開始されました。

理学研究科 宮田教授の「運動超分子マシナリーが織りなす調和と多様性」が科研費新学術領域研究（研究領域提案型）に研究代表者として採択され、生活科学研究科の森和彦教授を代表とする全学的研究の「都市防災研究」がいよいよ最骨頂になってきておりますなど、まだまだ紹介しなければならない研究は多々ありますが、外部資金は11月現在で40億円に手が届くところまでと、今まで以上に成果を上げてきていただきました。

例年のランキングでは、社会福祉士国家試験に全員合格。1月に実施された第24回社会福祉士試験を受験した学生（既卒者含む）17人全員が合格し、学校別の合格率も受験者10人以上の大学216校中、全国1位となりました。（全国の合格率は26.3%）

週刊ダイヤモンド特大号（2012/9/29）の特集では～大学全比較

教育力・就職力・ブランド力～の中で大学総合トップ 20 の 10 位に本学が選ばれました。日経グローバル（2012/11/19）での全国大学の地域貢献度ランキングでは 12 位（前年 9 位）とがんばっていただきました。

このようにしっかりと地についた実力を示せたことは、大学運営に教職員の皆様の不断のご尽力とご協力、そしてご理解のおかげと心よりお礼を申し上げます。

昨年は、研究科長の先生方には前例のない 1 年留任延長をお願いし、新大学構想会議委員団によるヒアリングを受けていただくなどのご苦勞をおかけしました。また、所属の教職員とともに各学部の種々のデータづくりや多くの課題をこなしていただき、大変にお世話になりました。御礼を申し上げます。

また、大学教育研究センターの大久保教授をチームリーダーとした市大プロジェクトチームの先生方には本当に多大な時間を費やしていただき、大学の在り方や大学の改革の方向性を検討していただきました。さらに若手職員による職員プロジェクトチームも編成されるなど、ここで培われた知恵はこれからの大学改革に十分に生かされてくると思っております。心より皆様のご貢献にお礼申し上げます。

長々と私のこれからの大学への思いを述べさせていただきました。今年は大阪府立大学との法人統合の具体化というステップがあります。切磋琢磨しつつも、大阪市立大学の歴史と伝統、実績をもとにさらに飛躍していく姿をめざす新たな年となります。大きな決意を以って臨まなければならない年になろうと認識いたしております。

今後も、皆様方と真摯にご相談し、議論を重ねながら、この新しい年を充実した、実りのある年にしたいと念願しているところです。

本年も皆様のご健勝とさらなるご活躍を祈念し、新春の私の希望
と願いを込めて新年のご挨拶とさせていただきました。
本年もどうぞよろしくお願いいたします。